

リン [Rin]

氏 名：リン（漢字で書くと「倫」）

職 業：勇者（女性騎士）

年 齢：18 歳

誕生日：4 月 20 日（おひつじ座）

身 長：158cm

血液型：A 型

胸 ：B カップ

チャームポイント：首

顔立ち：顔立ち：実はなかなかの美少女。

だが、自分の容姿に気を遣う余裕はゼロ。

サリア曰く

一人称

わたし

ヒロインの呼称

妖精さん、カリファちゃん

『ポテンシャルの 30% しか発揮できてない』。

体型：やせっぽちなのに

触れるとふわふわ柔らかく、

内面：一つ一つの動作が丁寧で優しい。

そして、いかにも頼りない雰囲気にくせに

『もしかしたら、この人なら

何か面白い事をやってくれるかも』

と思わせるという、様々な面において

アンビバレントな魅力を持つ。つまり、

特定の層にだけ異常に突き刺さり、

はまった者は抜け出せなくなるタイプである。

好きなもの：人の役に立つ事、星を見る事、食べる事、寝る事、
あとそれから……（三大欲求的な意味で察してください）

Error!



強力な干渉魔法により
写真を表示できません

OK

ただの一般人なのに、なぜか勇者に選ばれてしまった女の子。

貧しい村の大家族出身で、これといったとりえもなく、
家族の中でも足手まとい扱いをされて育つ。

しかしある日、突然神様に選ばれ、村を出て旅に出る事になった。

生真面目で心優しく、正義感が強い性格。

勇者としては弱すぎるくせに意思だけはやたら強く、
根気強く一步一步近づいて目標を達成するタイプ。

しかし、戦いに適しているとは全く言えず、さらに存在感が薄い。

勇者と呼ばれるようになってからも

『びっくりするほどオーラがない』『どこにいるのか本当にわからなかった』と言われ続けている。

結果、自己肯定感が非常に薄く、その分人の役に立ちたいという気持ち強い。

しかし、これをこじらせた結果『人の役に立っていない自分には価値がない』

と思うようになってしまっている。

本当は、戦う事も痛い事も辛い事も大嫌い。

だからやりたくないし、今すぐ逃げ出したいけれど、自分の行いが誰かの役に立つと
信じて戦い続けている。それに、今更村に戻ったところで居場所はないし……。

心の支えは、唯一の旅の仲間の『妖精さん』。

三か月前、突然現れた『妖精さん』に危機を救ってもらい、その時からずっと彼女に憧れている。

以来、時々急に現れてはサポートしてくれる『妖精さん』と会うのをいつも心待ちにしていた。

そんなある日『妖精さん』と、もし自分が立派な勇者になれば、『妖精さん』を操作している人、
つまり『中の人』と会う約束をする。

それからは『頑張って戦い抜いて、妖精さんの正体を知る』事が最大のモチベーションになっていた。

だが冒険を始めて三か月ほどたった十八歳のある日、強力な魔物に襲われる。

同時に自分をかばって『妖精さん』が壊れてしまう。

そして失意のままサリアに拾われ、飼われる事になる。

周圀にはバカな子だと思われがちで、本人もこれを否定しない。

だが、実際は意外と冷静で、頭が回る。

また、ルーチンワークが一切苦にならず、
淡々と、黙々と作業をこなせる集中力がある。

実 は、三大欲求がどれも非常に強い。

貧乏舌で、何でもおいしそうにたくさん食べ、どんなところでも、

割とすぐにスヤスヤ眠れる。

だが、食欲と睡眠欲に比べ、性欲の強さは大っぴらにしづらいので、必死に隠している。

また、村にいた頃は家の仕事が、冒険を始めてからは戦いが大変すぎたので、恋愛経験もない。

結果『性的な事にものすごく興味のある処女』である。

実 家ではあまり大切に扱われてこなかったので、

人一倍大事にされたい、甘えたいという欲求が強い。

特に『お姉ちゃん』というものには強い憧れがある。実姉は冷たかったし。

結果、サリアとは、サリアが想定していた

『えっちなご主人様と、いじめられる従者』というよりは『不慣れなりに頑張って甘え
させてくれる姉と、それをニコニコ享受する意外と聡い妹』のような関係になっていく。